



せせらぎ

令和4年4月7日
清瀬市立清瀬第四小学校
4月号
家庭数配布

さくらさく 出会いの笑顔 せせらぎと

校長 長沼正城

本校ホームページ「四小なう！」に“桜開花の法則”（600℃の法則）が載っています。すでにご覧になった方も多いかと思います。本校教員が、それって本当？と思い、実際に測定・観察をしたとのこと。予想（仮説）は、「2月1日から毎日の最高気温を足し続けて“600℃”になったら、桜が開花するであろう。」というもの。毎日記録をとり続けて先月24日には、何本かの桜の木にほんのりピンクの蕾が今にも咲きそうだったとのこと。こうやって、「ハテナ」→「やってみる」→「確かめる」→「結果をみて考える」という一連の流れは、人間らしい行為だと思いませんか。ここに人類の進歩の原理があるように思います。自然に恵まれた四小児童もそんな「学び」を大事にしてほしいなと思っています。

本日は、新入生34名を迎えての入学式。「おめでとうございます！」と校庭の桜もまだがんばって咲いてくれています。これで全校児童224名、そして正規教員・事務職・専門職・非常勤スタッフ等32名、総勢256名で令和4年度をスタートすることができました。

ところで、「春」は英語で言うと「spring（スプリング）」。そのもともとの意味は、「突然飛び出す」と。長く寒い冬、積もった雪がだんだんと解けて地面にしみ込み、春になると地面から泉のようにふき出す様子が想像できます。清々しい春らんまんの真ただ中、清瀬第四小学校は、「泉のごとく」はじけるように元気に明るく「希望」を抱き、充実した毎日にしたいと思います。



さて、遅ればせながら、自己紹介をいたします。この4月から清瀬第四小学校に着任しました、第16代校長の長沼正城と申します。前任校は清瀬小学校でした。市内の大規模校から市内で一番緑豊かで人数も目が行き届きやすい四小に赴任することができ、とても嬉しく思っています。児童一人一人とたくさん触れ合える良さを生かし、“全校児童の担任”との思いで苦楽を共にしたいと思います。

私のモットーは「目の前の一人を大切に」、「とにかく最善の方法を考える」です。保護者や地域の方々の思いや願いに耳を傾け、寄り添いながら、そのときどきの問題を解決していきたいと思っています。

前任の岩崎治彦校長先生が築かれた「信頼される学校」を引き継ぎ、教職員一同、「スピード・スマート・スマイル」でチーム力を発揮してご期待に応えられるよう前進していきます。“チームせせらぎ”に、ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

【お願い】

年度当初にあたり、保護者の皆様をお願いがございます。各担任・専科等の教職員は校長・副校長の指導のもと、一生懸命に児童の教育にあたります。その際、教職員の対応に、「あれ？」「どうして？」「なんで？」という疑問を感じることもあるかもしれません。そのような場合は、お子様の前でそのことについて深掘りせず、ご遠慮なく、すぐに学校にご連絡ください。担任に言いづらいことは、副校長か校長の方へお知らせいただいても構いません。教育は「信頼」が一番の柱です。仮に教職員への不信感が出てしまえば、「児童と教師」との一番大切な「信頼」が崩れてしまいます。学校とご家庭が“車の両輪”となって、同じ方向を向いて児童の成長を支え、伸ばしていきたいと思っています。児童一人一人は、かけがえのない未来の「宝」です。何とぞお願いいたします。